

神保町地域まちづくり協議会議事要旨

【日時】 令和 7 年 5 月 28 日（水） 9：30～11：30

【場所】 千代田区役所 4 階 会議室 A・B

発言者	要旨
1.	神保町地域まちづくり協議会運営について
地域まちづくり課長	・本日の協議会の資料や議事要旨は後日区のホームページで公開する。次回の協議会からは傍聴を可能とすることを考えている。神保町地域まちづくり協議会設置要綱に基づいて、協議会運営をすることでよい。 （特段意見なし）
2.	神保町地域のまちづくりについての資料説明、意見交換
委員	【千代田区・東京都・委員より、資料説明】 ・3年半工事で閉じていたが、来年春開業にあたり、まち全体でプロモーションイベント等を行っていききたい。
座長	・次回以降もこうした提案資料などがあれば協議会の場で共有いただきたい。
地域まちづくり課長	・事務局としても、議論を深めるためにできる限り時間を確保していきたいので、事前にご連絡いただければと思う。
委員	・街並み再生地区の制度を活用していく上では、エリアマネジメント組織が必要と感じている。今後どのように組織を作っていく想定か。
まちづくり担当部長	・区とは別の組織にて、まちの意見を集約して発信していくことが必要と感じている。事業者の方々にもバックアップいただきながら、神保町における組織を検討していきたい。エリアマネジメントによって、一過性ではない継続したまちづくりができればと思う。
座長	・エリアマネジメントの活動は、現在のまちづくりに求められている。建替え制度等を活用するハードの取り組みだけでなく、ソフトとしてまちに何が必要か、一緒に考えていく必要がある。住民と事業者がどのように連携していくべきかなど、今後継続検討できるとよい。
委員	・周辺の5つの商店会と連携して様々な取り組みを行っているが、今後は神保町としてもっと大きな範囲で発信していくべきと考えている。エリアマネジメントを事務局として、各商店会に声掛けを行っていくような仕組みにできるとよい。
まちづくり担当部長	・エリアマネジメントができて、地域の商店会などが無くなるわけではない。町会や商店会、古書店連盟などと協力体制を築くことを想定している。
座長	・地域活動について3町会のご意見をお伺いしたい。
委員	・先日の神田明神祭りは盛り上がった。お祭りの時にも、本屋に訪れる人がいた。三省堂の開業によってまちも変化すると思われる。今後とも盛り上がっていかれればと思う。
委員	・近隣町会や学校などに参加してもらいながら様々なイベントを行っている。まちには古本関係者だけでなく、その他の商売をしている人や、住んでいる人もいる。そうした方々が抱える建替えやこれからの商売に対する不安を取り除きながら、事業を進めていく必要があると思う。

発言者	要旨
委員	・当町会は書店がなく、通り会も復活できず寂しい状況となっている。また新旧の入れ替わりが激しく、中々まちづくりに参加してもらえない。もう少し発展させていきたい。
座長 地域振興 部長	・地域振興部としてはいかがか。
	・本日は情報も多く、戸惑われた部分もあるかと思うので、少し内容について整理をしたい。まちづくりを考える上では、仕切りと仕組みと仕掛けが重要であると考えており、この場では皆さんが思う将来像やビジョンを共有し、そのために何をすべきかといった、仕切りと仕組みの議論ができればと思う。ビジョンを実現するための仕組みが制度であり、街並み再生方針によってリノベーションを支援する等の話などがある。また仮に将来神保町で開発などが起こる場合には、まちの価値を認識させ、エリアに貢献させる仕組みが必要になると思っている。またビジョンを持って制度を作っても、使われなければ意味がないため、各ステークホルダーが本気になって、制度を使って神保町の個性を守り発展させていくことが必要と考えている。地域振興部としてはお祭りも含めたイベントの支援等の仕掛けなどを考えていきたい。
座長	・具体的に困っていること等についてお聞きできればと思う。
委員	・コロナ以降、インターネット販売が増えるなど売り方が変わってきた。また外国人も増えたが、彼らは個人商店が並ぶ街並みを楽しんでいるようである。建物の老朽化により建替えも考えたが、共同化では街並みが変わってしまうため、リノベーションも考えていきたい。これからは、外国人に対して魅力を発信し、日本へ逆輸入してもらうことも考えられる。
座長	・ハードの建替えにおいて何がボトルネックなのかについては、引き続き検討し、制度に反映できればと思う。
委員	・今年も古本祭りが開催される。こうしたイベントの光景は嬉しく思う。ただ古書店は家族経営が多く、建物のリノベーションや建替えを行っても、経営者問題等で今後も経営を存続できるかわからない。建物のハード整備後、仮に自分とは異なる古書店が入居することになったとしても、神保町のまちを維持できれば嬉しい。
座長	・建物などの器（うつわ）の話と事業活動をどのように繋いでいけるか、引き続き検討していきたい。選択肢を増やしていくことが重要であると思う。
委員	・リノベーションも考えているが、最近鼠が増えており、漏電等により在庫が燃えないようにするためには、建て替えの選択肢もあると思っている。インバウンドの恩恵を受けている店舗とそうではない店舗もあり、まずは神保町に人が来てもらうようにするために、支援いただけると嬉しい。商店会や町会とも連携していきたい。
座長	・電気設備の老朽化も大事な論点であり、補助メニュー等を考えるにあたって、必要な検討事項である。またモデル地区の取組等を今後どのように地域全体に普及させるか、考えていければと思う。
委員	・建物老朽化の問題があり、その場での建て直しが難しかったため、別の土地にて半分の規模にて建築を行った。また今回は後継者問題がうまくいったが、建築費高騰の課題はあった。これまでも地域でソフトの課題等について話す場はあったが、今回のように区や都、

発言者	要旨
委員	事業者などが集まり、ハードの議論ができる場は無かった。こうした機会は重要であると思う。 当社の建て替え計画の事務局をやっていたが、駐車場の課題があった。附置義務の一般車約 40 台分については、運よく半径 300m 以内に隔地先を見つけられたが、そうでなければ必要台数分の駐車場を計画する必要があった。共同化の際には同じような課題があると思う。
まちづくり 担当部長	ハードの課題については、次回事例をご紹介して検討していきたい。また靖国通りに面する駐車場はやめるべきだと考えている。今後、附置義務の低減や集約を検討する中で、地区全体で改めて調整をしていきたい。
委員	築 55 年経つ建物において、地域と出版文化をつなぐ場をつくろうとリノベーションを検討していたが、建築費高騰に直面し頓挫し、耐震と設備更新に絞っている状況。今回の協議会での議論を踏まえ、もう一度実現に向けて動ける可能性があるのではないかと思います。従業員もいるため、できれば地域内で一時移転できるとよい。
座長	地域のためになる事業活動をいかに支援できるかがポイントだと思う。事業の継続支援が公共的な価値につながる制度設計になるとよい。
委員	老朽化問題は長期課題としてある。まちは時代とともに変わってきているが、現在も良いところが沢山ある。神保町で勤務できることに誇りを持っている社員もいる。今後も魅力的なまちとなるとよい。
座長	来街者や就業者の目線も大事である。
委員	委員の提案等について、どういう形で協力できるか持ち帰って考えていきたい。東京マラソンでは神保町で写真を撮る外国人はいなかった。神保町らしさがまだ出来上がっていないのではないかな。うまく PR できるようにしたい。
委員	神保町の魅力は公と私であれば、個人の経営などの私の部分が担ってきた部分大きい。私と公がうまく結びつくとよいと思う。作家の方々も原稿料や使用料で生活されている。まちづくりにおいて絵を使う際のビジネススキームについて伺いたい。
委員	ウォークアブルのまちづくりを進めている中では、駐車場の台数がこれ以上増えることは無いと思う。30 年後に合わないルールとはならないように、将来を見据えて検討できればと思う。また設備によるランニングコストが、事業を圧迫することもある。リノベーション後の設備の更新やメンテナンスについても支援できるようなルール作りができるとよい。
座長	地元の大学としてのご意見も伺いたい。
委員	様々なサークルや学部にて地域との繋がりがある。ハードもソフトも地域と一緒に取り組みたい。耐震化を進めている中で、地区計画の見直しでは、高さ制限や附置義務について相談していきたい。必要に応じて大学に在籍する先生にも協力依頼を行っていきたい。
委員	現在約 6200 名の学生が通っている。10 年おきに校舎の建替え等を順次行っており、現在は靖国通り裏の校舎の建替えを検討している。2020 年に靖国通り沿いの校舎を建替えた際には、地域とどのように連携できるか検討した。今後も地域との連携については検討で

発言者	要旨
委員 座長	さればと思う。 ・御茶ノ水エリアの校舎でも老朽化問題が生じている。多くの学生が神保町エリアにお世話になっている。神保町の街並みがこれからも残っていくとよい。 ・地域との関わりは重要なキーワードである。大学は他の建物とは違った側面から地域と連携できる可能性がある。
3.	その他
地域まちづくり課長	・次回日程は詳細決まり次第、ご連絡する。